



Sapporo  
Medical University  
Hospital

# 札幌医科大学附属病院 慢性疼痛センター

～慢性疼痛の克服に向けて～

Chronic Pain Center, Sapporo Medical University Hospital



札幌医科大学附属病院

## センター長あいさつ



慢性疼痛センター長  
整形外科科学講座 教授

### 山下 敏彦

現代社会において多くの人々が慢性の痛みを苦しんでいます。わが国における大規模疫学調査によると、成人の約23%が慢性痛を有しているとされます。

このような状況を背景に、厚生労働省は「慢性の痛み政策研究事業」を展開しています。その中において札幌医科大学は、「痛みセンター連絡協議会」のメンバーに指定され、2018年1月より「慢性疼痛センター」を開設いたしました。

本センターでは、慢性疼痛に対する「集学的治療」を行うことを目的としています。集学的治療とは、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、神経精神科、泌尿器科、歯科口腔外科など複数の診療科や、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、薬剤師、ケースワーカーなど多様な職種が治療に参加し、互いに情報の共有やディスカッションを行うことにより、慢性疼痛の患者さんを多角的、効果的に治療していくというものです。

本センターの活動により、一人でも多くの慢性疼痛に悩む患者さんが痛みの苦しみから解放されることを願っています。

### 目次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| センター長あいさつ .....                  | P1 |
| I. 慢性疼痛とは? .....                 | P2 |
| II. 札幌医科大学附属病院慢性疼痛センターについて ..... | P3 |
| III. 北海道における慢性疼痛診療連携 .....       | P6 |
| IV. 痛みセンター連絡協議会について .....        | P7 |

# I. 慢性疼痛とは？

疼痛は生体の組織損傷を伝える警告系です。しかし、組織損傷が治癒しているにもかかわらず疼痛が持続することがあります。この長引く痛みが一般に慢性疼痛といわれます。痛みが長引くと、その痛みだけでなく身体活動の低下などのさまざまな問題が現れて、毎日の生活が困難になってきます。痛みの原因はさまざまありますので、痛みの診療は、それぞれの担当医療者の専門性を活かしながら総合的な診療を行う必要があります。

## 1. 本邦における慢性疼痛の現状

諸家の報告によると本邦における慢性疼痛の有病率は13.4～22.9%とされています<sup>1-4)</sup>。痛みの保有期間については、「10年以上～20年未満」が22.3%、「5年以上～10年未満」が22.2%、「3年以上～5年未満」が14.6%と長期間にわたり疼痛を有していることが示されています(図1)<sup>1)</sup>。痛みの部位については、「腰」が64.1%、「肩」が47.9%、「膝」が25.6%などでした(図2)<sup>1)</sup>。治療満足度、治療有効性に関する調査では3分の2の慢性疼痛患者が現在の治療に満足しておらず(図3)<sup>2)</sup>、適切な医療機関や治療方法を選択することにより患者満足度が改善する可能性が考えられます。

図1 有病期間

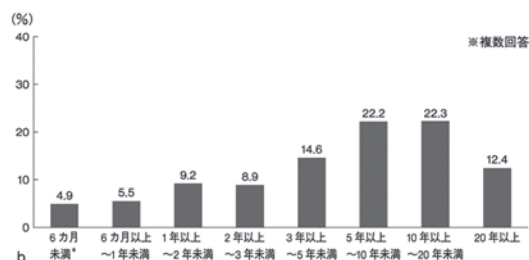


図2 疼痛部位

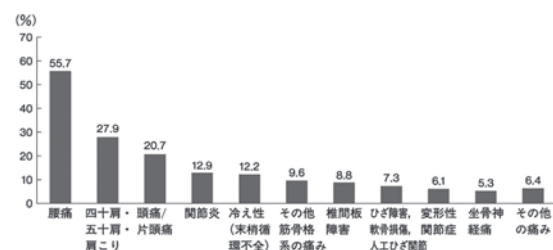
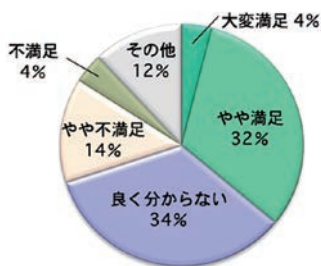


図3 治療の満足度



- 1) 矢吹省司, 他: 日本における慢性疼痛保有者の実態調査 Pain in Japan 2010 より. 臨整外. 47: 127-134, 2012.
- 2) Nakamura M, et al: Prevalence and characteristics of chronic musculoskeletal pain in Japan. J Orthop Sci. 6: 424-432, 2011.
- 3) 服部政治, 他: 日本における慢性疼痛保有率. ペインクリニック. 25: 1541-1551, 2004.
- 4) 松平 浩: 慢性疼痛と心理社会的要因. Practice of Pain Management. 2: 30-35, 2011.

## 2. 慢性疼痛に対する集学的治療

慢性疼痛の治療は整形外科、リハビリテーション科、麻酔科(ペインクリニック)、神経精神科、泌尿器科、歯科口腔外科など複数の診療科や、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、薬剤師、ケースワーカーなど多様な職種が、痛みの身体的・心理的・社会的な相互関係を多方面から評価し、各専門医学領域と連携してカンファレンスを行い、患者さん一人一人に適した治療を選択するという集学的治療が近年推奨されています。

## II. 札幌医科大学附属病院慢性疼痛センターについて

### 1. 概要

慢性および難治性疼痛を有する患者さんに対応するために、器質面だけでなく精神心理的要因や社会的要因まで集学的な診断・分析を行い、多角的な治療を行います。

### 2. 業務内容

- ・慢性疼痛患者に対する多職種による集学的(学際的)な診療の推進
- ・慢性疼痛に関する臨床研究
- ・その他慢性疼痛に対する包括的な診療体制を構築するために必要な業務

### 3. 外来診療

当センターを受診いただきますと、痛み診療コーディネーター(リハビリ科医師および整形外科医師)が身体的・心理的側面の評価を行い、集学的治療の必要性を判断します。

#### 評価項目

心理的ストレスの評価: Hospital Anxiety and Depression Scale

痛みと活動性に関する評価: Pain Disability Assessment Scale

痛みの影響に関する評価: Pain Catastrophizing Scale

健康関連QOLの評価: EuroQol 5 Dimension

運動機能評価: Locomo25

### 4. 入院診療

集学的治療は4週間の入院治療(表1)を原則とします。ガイダンス、疼痛講義を通して疼痛病態の説明を行います。また、理学療法・機能訓練を導入し機能改善を目指します。定期的なカンファレンスを実施し、患者さん個々の治療計画や問題点などを検討します。入院治療を終了した後は、慢性疼痛センターと連携機関で情報を共有しながら、原則的には連携機関で治療を継続します。

表1

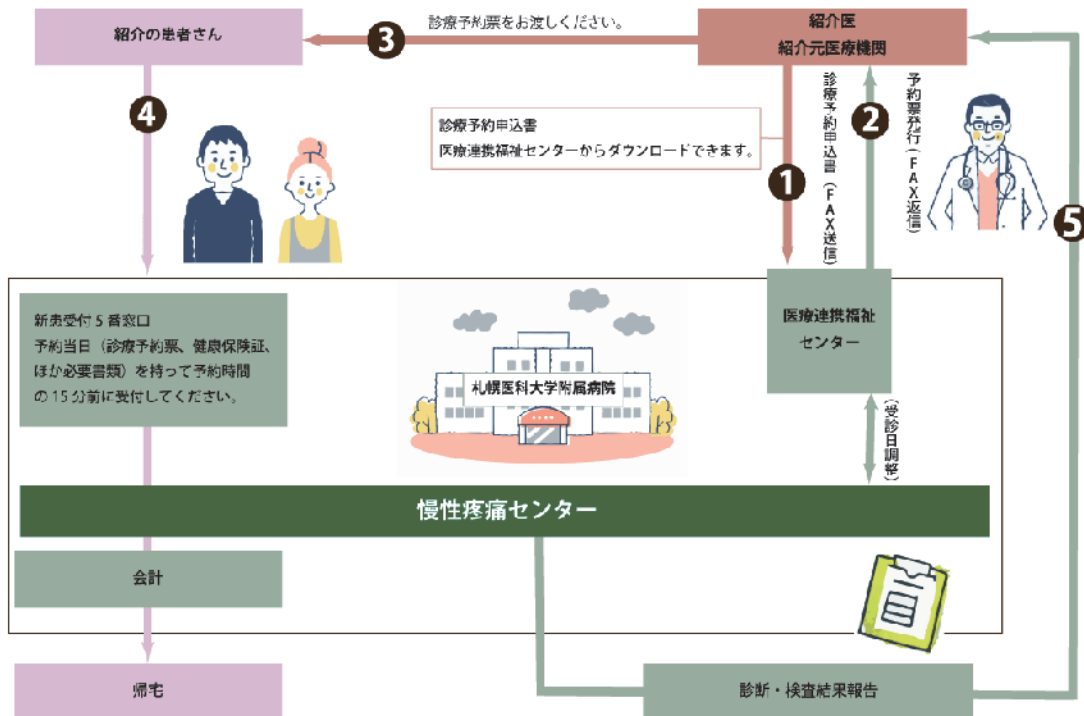
|     | 月                     | 火    | 水            | 木    | 金           |
|-----|-----------------------|------|--------------|------|-------------|
| 午 前 | ガイダンス<br>疼痛講義<br>理学療法 | 理学療法 | 疼痛講義<br>理学療法 | 理学療法 | 理学療法        |
| 午 後 | 理学療法<br>面 談           | 理学療法 | 理学療法<br>面 談  | 理学療法 | 理学療法<br>面 談 |

## 5. 予約方法

原則、医療機関からの紹介・予約制です。

まずは「かかりつけ医」を受診してください。

かかりつけ医から慢性疼痛センターへ初診の予約を行います。




**ご予約は下記 FAX または ホームページから**

**FAX : (011)621-2233    <https://web.sapmed.ac.jp/pain/patient.html>**



## 6. 慢性疼痛センター構成員

**センター長**  
やましたとしひこ  
**山下敏彦**




---

**整形外科講座 教授**

資格

- 日本整形外科学会認定整形外科専門医
- 日本脊椎椎間病学会脊椎椎間科指導医
- 日本スポーツ協会公認スポーツドクター

やまかげみちあき  
**山蔭 道明**




---

**麻酔科学講座 教授**

資格

- 日本麻酔科学会指導医
- 日本ペインクリニック学会専門医
- 厚生労働省臨床研修指導医
- 日本医師会医療安全推進認定者
- 日本心臓血管麻酔学会暫定指導医

かわにし ちあき  
**河西 千秋**




---

**神経精神医学講座 教授**

資格

- 精神保健指定医
- 日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医
- 日本老年精神医学会専門医・指導医
- 日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医
- 日本医師会認定産業医
- 一般病院連携精神医学特定指導医
- 産業医
- 精神腫瘍学の基本教育に関する指導医

いしあい すみお  
**石合 純夫**




---

**リハビリテーション医学講座 教授**

資格

- 日本リハビリテーション医学会専門医
- 日本神経学会神経内科専門医
- 日本内科学会認定医
- 認知症専門医

みやざき あきひろ  
**宮崎 晃巨**





---

**歯科口腔外科学講座 教授**

資格

- 日本口腔外科学会専門医
- 日本口腔外科学会指導医
- 日本口腔腫瘍学会口腔がん専門
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者（歯科口腔外科）
- 臨床研修指導歯科医師

むらかみ たかのり  
**村上 孝徳**




---

**リハビリテーション医学講座 講師**

資格

- 日本リハビリテーション医学会専門医
- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会脊椎椎間病医
- 日本整形外科学会認定リウマチ医
- 日本脊椎椎間病学会脊椎椎間科指導医

いわさき そろし  
**岩崎 創史**




---

**麻酔科学講座 講師**

資格

- 日本麻酔科学会指導医
- 認定機構認定
- ボトックス注使用許可認定

いしい たかお  
**石井 貴男**




---

**神経精神医学講座 講師**

資格

- 精神保健指定医
- 日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医
- 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学特定指導医
- 日本医師会認定産業医、精神腫瘍学の基本教育に関する指導医

こばやし こう  
**小林 皇**




---

**泌尿器科学講座 講師**

資格

- 医学博士
- 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- 日本性機能学会専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本排尿機能学会認定医
- 日本内分泌学会内分泌代謝科（泌尿器科）専門医
- 日本ロボット学会認定医（JB）

おうごん いざや  
**黄金 勲矢**




---

**整形外科講座 助教**

資格

- 日本整形外科学会認定整形外科専門医
- 日本整形外科学会脊椎椎間病医

かきざわ まさふみ  
**柿澤 雅史**




---

**リハビリテーション部 副部長**

## Ⅲ. 北海道における慢性疼痛診療連携

厚生労働省の慢性の痛み政策事業の取り組みによって、痛みセンターを核とし地域の医療機関と連携した慢性疼痛診療モデル事業が実践されています。札幌医科大学附属病院慢性疼痛センターは疼痛治療に精通した北海道内の4施設(旭川医科大学、朝里中央病院、NTT東日本札幌病院、札幌禎心会病院)の連携機関とともに慢性疼痛に悩む患者さんの治療を行います。



### 1. 連携実績 (2020年)

| 性別 | 年齢 | 診断名      | 紹介目的      | 紹介先        |
|----|----|----------|-----------|------------|
| 女  | 56 | 帯状疱疹後神経痛 | 神経ブロック    | NTT東日本札幌病院 |
| 女  | 57 | 下肢CRPS   | 投薬継続      | 札幌禎心会病院    |
| 男  | 24 | 両下肢CRPS  | 脊髄刺激療法    | NTT東日本札幌病院 |
| 男  | 47 | 四肢CRPS   | 神経ブロック    | NTT東日本札幌病院 |
| 男  | 51 | 腰部神経根障害  | 硬膜外腔内視鏡処置 | 旭川医科大学病院   |
| 女  | 71 | 上肢CRPS   | 神経ブロック    | NTT東日本札幌病院 |
| 男  | 26 | 腰椎多数回手術  | 脊髄刺激療法    | 札幌禎心会病院    |
| 男  | 78 | 頸椎術後上肢痛  | 投薬継続      | 札幌禎心会病院    |

### 2. 講演会・研修会の開催

#### 平成30年度

##### 1) 講演会

平成30年11月13日 於:グランドパーク小樽  
演題名:慢性痛の痛みって何?どんな治療をする?  
講師:矢吹省司先生(福島県立医科大学 整形外科教授)  
参加者:66名

##### 2) 研修会

平成30年10月7日 於:札幌医科大学共同会議室  
認定NPO法人 いたみ医学情報センターと共催  
参加者:40名

##### 研修内容

- 慢性疼痛、Red Flagの評価
- 慢性疼痛の薬の使い方
- 運動療法と痛み
- 症例検討
- コミュニケーション・心理療法

#### 令和元年度

##### 1) 講演会

###### 第1回

令和元年10月9日 於:ニューオータニ札幌  
演題名:生物心理社会モデルによる複合性局所疼痛症候群の治療  
講師:益子 竜弥先生(エメラルド整形外科疼痛クリニック)  
参加者:42名

###### 第2回

令和元年11月9日 於:札幌パークホテル  
演題名:慢性疼痛の集学的診療システムにおけるリハビリテーションの実態  
講師:井上 雅之先生(愛知医科大学運動療育センター・学際的痛みセンター)  
参加者:29名

###### 第3回

令和2年1月17日 於:ニューオータニ札幌  
演題名:不安と痛みの関わり -見えない情動と痛みを電気生理学的に見る-  
講師:山中 学先生(和歌山県立医科大学整形外科 助教)  
参加者:15名

###### 第4回

令和2年2月12日 於:札幌プリンスホテル パミール館  
演題名:運動器慢性痛患者の多面的評価と治療~精神科医の立場から~  
講師:井上 真一郎先生(岡山大学病院精神神経科 助教)  
演題名:運動器慢性痛患者の多面的評価と治療~整形外科医の立場から~  
講師:鉄永 倫子先生(岡山大学病院整形外科助教・運動器疼痛性疾患治療研究センター副センター長)  
参加者:29名

##### 2) 研修会

令和2年1月25日 於:札幌プリンスホテルパミール館  
認定NPO法人 いたみ医学情報センターと共催  
参加者:32名

##### 研修内容

- 慢性疼痛症候群とは?
- Red Flagの評価
- 慢性疼痛では痛み以外の評価が必要
- 慢性疼痛患者とのコミュニケーション
- 慢性疼痛における運動療法

#### 令和2年度

##### 1) 講演会

###### 第1回

令和2年11月18日 Web開催  
演題名:肩の痛みの病態診断と治療  
講師:泉 仁先生(高知大学整形外科教室 講師)  
参加者:61名

###### 第2回

令和2年12月9日 Web開催  
演題名:運動器慢性痛に潜む器質的疾患  
講師:川崎 元敬先生(四国こどもとおとなの医療センター 疼痛医療センター科長)  
参加者:48名

###### 第3回

令和3年2月4日 Web開催  
演題名:慢性疼痛に対する心理学的アプローチの実践 -マインドフルネス心理療法-  
講師:田中 智理先生(慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 助教)  
演題名:慢性疼痛の脳機能と集学的アプローチ  
講師:小杉 志都子先生(慶應義塾大学医学部麻酔学教室 講師・慶應義塾大学病院 痛み診療センター長)  
参加者:67名

## IV. 痛みセンター連絡協議会について

近年、わが国において慢性疼痛に対する集学的治療と診療連携の重要性が強調されており、厚生労働省は「慢性の痛み政策研究事業」を展開しています。その中で札幌医科大学は、「痛みセンター連絡協議会」のメンバーに指定され、2018年1月より「慢性疼痛センター」を開設いたしました。

### 「痛みセンター連絡協議会」所属医療機関 (<https://paincenter.jp/businessguide.html>)

|                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 札幌医科大学附属病院         | 名古屋市立大学病院              |
| 福島県立医科大学附属病院       | 愛知医科大学医院               |
| 公益財団法人星総合病院        | 三重大学医学部附属病院            |
| 獨協医科大学病院           | 滋賀医科大学医学部附属病院          |
| 千葉大学医学部附属病院        | 岡山大学病院                 |
| 東京慈恵会医科大学附属病院      | 山口大学医学部附属病院            |
| 順天堂大学医学部附属順天堂医院    | 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター |
| 日本大学医学部附属板橋病院      | 愛媛大学医学部附属病院            |
| 慶應義塾大学病院           | 高知大学医学部附属病院            |
| 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 九州大学病院                 |
| 新潟大学医歯学総合病院        | 佐賀大学医学部附属病院            |
| 富山大学附属病院           |                        |

札幌医科大学附属病院  
慢性疼痛センター